

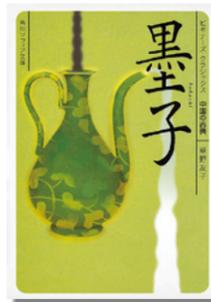
# メガホン

2024 SPRING Vol. 19

発行：富岡町図書館

## 墨子

草野 友子／著  
(KADOKAWA、2018年)



古代中国、諸子百家の時代に儒家と勢力を二分したとされる墨家集団の始祖・墨子。「兼愛」「非攻」の思想を中心に説かれる『墨子』ですが、「つまみ所がない」と思われがち。最新の研究でわかったことを交えながら、読みやすく編まれた一冊です。

## 県境マニアと行く

くるっとふしぎ県境ツアー

田仕 雅淑／著 (技術評論社、2022年)



神社の中、ショッピングセンターの中にも県境が？なんでこんなところに！地図を見ると、謎な県境だらけ。実際に足を運んでみると…。「趣味は県境です」という著者が、全国津々浦々に刻まれた境界線の歴史と物語に迫ります。

## ぼくが宇宙人をさがす理由

鳴沢 真也／著 (旬報社、2012年)



地球外に人類並みの知的生命体がいれば、何らかの電波を発しているだろう。こんな仮定のもと、宇宙からの電波を観測している国際的なプロジェクトがあります。子供のころの夢をかなえてこのプロジェクトへ参加し、観測を続けている日本人の自伝です。

## ボクの音楽武者修行

小沢 征爾／著 (新潮社、2002年)



音楽の本場・ヨーロッパでの修行の日々を綴った著者の自伝的エッセイです。言葉のハンデをものともせず、音楽の情熱を胸に難関に挑戦する姿は爽快！「世界のオザワ」への第一歩を踏み出した、小澤青年の体験と出会いが詰まった青春の記録です。

今回のテーマ  
未知との遭遇



この世は知らないことばかり。身近なところにも、新しい出会いや発見がたくさんあります。知ることの感動と驚きをどうぞ。

## 世界奇食大全 増補版

杉岡 幸徳／著 (筑摩書房、2021年)



世界の奇食を土地の文化、伝統、気候、時代背景を交えて紹介した一冊。著者が実際に食べ、見た目や味を具体的に解説する食レポは、その軽妙な表現に思わず笑ってしまいます。サンショウウオ、サソリ、カンガルー?!味がまったく想像できない、知られざる食の扉を開いてみませんか。

## 冬虫夏草ハンドブック

盛口 満／著、安田 守／写真 (文一総合出版、2023年)



漢方薬として知られる冬虫夏草は、宿主となる昆虫から生える小さなキノコです。見つかるだけでも大変ですが、このハンドブックでは地表のキノコ部分から地中の虫の部分まで断面で見せてくれます。虫と草の不思議な合体を探してみませんか。

## かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック／さく、じんぐうてるお／やく (富山房、1975年)



いたずらがすぎたマックスは、怒ったお母さんに夕飯抜きで寝室に放り込まれてしまいます。すると部屋の中が森になり、辿り着いたのはかいじゅうたちのいるところ。しばらく楽しく過ごしますが、寂しくなってきた。読み継がれてきた名作絵本です。

特集  
おはなしの世界へ  
いらっしやいませ。



# おはなしは永遠のお友だち。 子どもがお気に入りと出会う架け橋に。

図書館では、児童書の貸出やおはなし会の実施のほかにもさまざまな児童サービスを行っています。今回は、子どもを育て見守るひとたちの役に立つコーナーや道具をご紹介します。道具は貸出も可能です。

お話の舞台は、演者が身に着けているエプロンです。登場人物や小道具などを、色々な場所にあるポケットから取り出してお話を進めます。



エプロンシアター

## パネルシアター



ホワイトボードのようなパネルを舞台としてお話を展開します。舞台が広いので、動きを大きく表現できます。

## 育児コーナー

児童書エリアの赤ちゃん絵本コーナーの一角に「育児コーナー」を設置しています。

妊娠中から3歳児までのお子さんを対象にした、子育てに役立つ本を集めています。テーブルに本を広げて、お子さんと一緒に読書を楽しめるコーナーになっていますので、ぜひお立ち寄りください。

育児雑誌「クーヨン」、父親向け子育て雑誌「FQ JAPAN」、子どもの本の情報誌「この本読んで!」のほか、いわき・双葉郡の子育て情報誌「コトハナ」などが並んでいます。

▲ 妊娠・出産、命名、妊娠・授乳中の食事、子どもの健康、子ども服などの手芸、親子で楽しむ遊びの本などがあります。

## 学びの森 2階 キッズルーム

子どもの遊び場、親子のふれあい・交流の場としてキッズルームを開放しています！

図書館をご利用の際、是非お立ち寄りください。

- 開放日 火曜日から日曜日（祝日・休館日を除く）
- 時間 9:00 から 16:00
- その他 必ず保護者同伴でご利用ください。



絵本の読み聞かせよりも演じる要素が多くなり、絵本とちがった楽しみがあります。裏面には、話し方や紙の抜き方も書いてあるので、誰でも演じることができます。



紙芝居

紙芝居の絵だけでも楽しめますが、舞台があると、劇場のような特別な雰囲気になります。演者や紙芝居の周囲が少し隠れるので、見ている子どもたちはお話に集中できます。



紙芝居の舞台

## 子どもと読書コーナー

子どもを対象にした読書推進活動についての図書を集めています。

子どもたちが自らの興味関心で読みたい図書を選ぶ環境を整えるだけではなく、出会う機会を設けることも図書館の大切な役割です。そうした機会を提供するのが読み聞かせをはじめとする読書推進活動です。耳馴染みがない方も多いかもしれませんが、子どもと読書を繋ぐ方法として、図書館や学校等で行われています。興味があるという方、どんなことをするのか知りたいという方もぜひご覧ください。



▲ 当館では おはなし、手あそび、パネルシアター、ブックトーク、アニメーションの5つに分けて並べています。